

29

誰もがスポーツを楽しめる
環境の充実

現状と課題

- 上尾市市民意識調査によると、スポーツや健康に関して行政に期待することとして、「スポーツや健康活動が手軽に楽しめるための環境整備」と回答した市民の割合が全体の51.1%でした。多様化される市民のニーズに対応するとともに、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりが重要です。
- 子供から高齢者まで、幅広い世代が安心・安全に運動・スポーツを身近に楽しむことのできる環境づくりが必要です。

主な取組

▶スポーツ施設の整備と効率的な管理運営

- ① 屋外・屋内にある既存施設を有効に利用できるようメンテナンスの充実を図ります。
- ② 指定管理者制度を継続し、民間事業者の運営による活力を活かした安全な管理と利用者へのサービス向上を図ります。
- ③ 老朽化が進んでいる施設の計画的な改修・更新を行い、市民がより安心して利用できる快適なスポーツ環境を整備します。

▶学校開放施設の整備

- ① 社会体育施設のトイレ改修や防球ネットの設置などによる利用環境の充実、周辺環境への配慮に努め、より良い地域スポーツ活動が行える環境づくりを行います。
- ② 上尾市学校施設更新計画との整合を図りつつ、市民に身近なスポーツ活動の場として、利便性の向上を図ります。

30

誰もがスポーツを楽しめる 機会の充実



現状と課題

- コロナ禍以降、地域コミュニティが希薄となり、地域単位で参加するスポーツ・レクリエーション事業は、参加者の確保が難しくなっています。また、若年層や働く世代のスポーツ実施率が低く、特に20代～40代の運動習慣の定着が課題となっています。
- 市民ニーズの多様化やスポーツを通じた健康づくりなど、幅広い視点でのスポーツ施策が求められます。

主な取組

▶各種スポーツ大会の開催

- ① 時代や年代に合わせたスポーツ大会を検討し、多くの市民が各種大会に参加できるよう努めます。
- ② 各大会におけるボランティアの積極的な活用や育成を図ります。
- ③ 障害者が広くスポーツに参加できる機会の確保と環境づくりを推進します。また、高齢者が積極的にスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ大会を支援します。

▶スポーツを「する」機会の創出

- ① 関係団体や地域自治会などと連携・協力し、多様なニーズに対応した地域スポーツ教室の充実を図ります。
- ② 市民が個々の体力や適性に合ったスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充に努めます。

▶スポーツを「みる」機会の提供

- ① 本市にゆかりのあるプロスポーツチームやアスリート等の活動情報を積極的に発信し、市民が応援する機会をつくと共に、市内での大会開催による観戦機会の充実と観戦機運の醸成を図ります。

▶スポーツを通じた健康づくりの創出

- ① 健康づくりのための体操やスポーツ教室、親子で参加できるスポーツ体験会など、幅広い年代が楽しくスポーツに親しめる機会の拡充に努めます。

▶パラスポーツを通じた共生社会の実現

- ① 障害の有無に関わらず、誰もがパラスポーツやユニバーサルスポーツを楽しめる環境づくりに取り組み、互いを理解して尊重し合う共生社会の実現を目指します。

31 地域におけるスポーツ活動の活性化の推進



現状と課題

- 各スポーツ関係団体の指導者や運営に携わる方の固定化や高齢化、後継者不足が課題となっています。
- 競技技術の向上を指導するだけでなく、スポーツの楽しみ方を指導し、興味・関心をわかせるような指導者が求められています。スポーツを支える人材の育成が重要です。
- 地域における子供たちの多様な活動の充実に向けて、持続可能な指導者体制が求められています。

主な取組

▶スポーツ推進委員活動の充実

- ① 地域スポーツの推進を担うスポーツ推進委員の資質向上やスキルアップを図るため、様々な研修や講習会を実施します。

▶スポーツを「ささえる」指導者の育成

- ① スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、スポーツ推進委員やスポーツ団体、学校、関係団体などと連携して、指導者の育成に努めます。

▶スポーツ団体の活動支援

- ① 市民へのスポーツ振興の中心的な役割を担えるよう、市内で活動するスポーツ団体の活動支援を行います。
- ② スポーツ・レクリエーション活動の地域展開を推進し、子供たちの心身の健全な育成に資するための指導者の確保と活動支援を行います。

目標10 健康と活力に満ちたスポーツ活動の推進 に対する指標

※現状値は令和7(2025)年時点、目標値は令和12(2030)年時点です。

指標		週1日以上スポーツを行う18歳以上の市民の割合
指標の定義	市民アンケートで「週1日以上スポーツを行う」と回答した18歳以上の市民の割合。	
選定理由	スポーツを「する」ことを推進する取組の成果を示す数値であるため。	
現状値	目標値	目標値の根拠
54.3%	65.0%	誰もがスポーツに親しめる機会の創出と充実を図ることで、運動・スポーツの実施率の向上を目指し目標値を設定。

指標		年1回以上スポーツを実際に観戦する18歳以上の市民の割合
指標の定義	市民アンケートで、「年1回以上スポーツを実際に観戦する」と回答した18歳以上の市民の割合。	
選定理由	スポーツを「みる」ことを推進する取組の成果を示す数値であるため。	
現状値	目標値	目標値の根拠
22.8%	40.0%	本市にゆかりのあるプロスポーツチームやアスリート等の活動情報を発信するとともに、市内での競技大会の開催を推進し、観戦機会の増加を目指し目標値に設定。

指標		スポーツに関するボランティア活動を行う市民の割合
指標の定義	市民アンケートで、「スポーツに関するボランティア活動を行う」と回答した18歳以上の市民の割合。	
選定理由	スポーツを「ささえる」ことを推進する取組の成果を示す数値であるため。	
現状値	目標値	目標値の根拠
5.7%	10.0%	スポーツ指導者の人材育成とボランティア活動の活性化を目指し目標値に設定。